

# どい 土肥こうすけ 後援会ニュース

発行:土肥こうすけ後援会 発行責任者:出原 逸三 編集責任者:鋤本 浩  
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153

## ■「地域座談会」を月例開催いたします!

地域課題や困りごと、市政に対する疑問やご意見について、皆様の生の声を頂戴したく、市内各地にお伺いし、直接お話しする場を定期的に設けさせて頂きたいと考えております。直近では、以下の3地域で座談会を開催しますが、これ以外の地域については別途ご案内申し上げますので、是非ともご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

- ・2017年7月29日(土)10:00~11:30  
地域:老上西学区  
場所:矢橋総合会館
- ・2017年8月19日(土)10:00~11:30  
地域:老上学区  
場所:老上まちづくりセンター
- ・2017年9月30日(土)10:00~11:30  
地域:志津学区  
場所:志津まちづくりセンター



### 座談会へのご参加、お待ちしております。

昨年12月から取り組み始めた地域別座談会ですが、後援会の皆様のご協力により、市内各地で計6回開催させていただいております。

おかげさまで、座談会にご参加いただいた方から、実際にその地域で生活しているからこそ感じることが出来る市の課題や、行政に対するご意見を聞かせて頂くことが出来るため、議会での審議や協議の場で意見提言する際、大変貴重な情報となっております。

また、座談会に参加してみた感想として「特定の地域に偏らず、市内全体に足を運んでるのは良いことや。」「困りごとの相談をしてみたらすぐに解決に向けて動いてくれて助かった。」というお声を頂戴しており、励みとなっております。

まだまだ駆け出しの新人議員で、勉強することがたくさんありますが「市民の皆様と対話すること」「現地に足を運び現実を見ること」を徹底することで、市全体や地域ごとの歴史や課題を理解し進め、市民の皆様が安心してらせるまちづくりを実現していきたいと考えておりますので、今後ともご指導とご支援をお願いいたしますとともに、近隣で座談会を開催する際には、お気軽にご参加いただけますようお願い申し上げます。



～土肥こうすけより、ごあいさつ～

住みやすい、働きやすい、訪れたい草津のまちづくりを、市民の皆様とともに実現いたします。

海や山の恋しい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、草津市議会6月定例会では、野村体育館建設の契約締結や、草津市文化振興条例の制定など、市民生活に関わる18件の議案が上程されました。詳しくは次ページでご紹介いたしますが、いずれの議案についても「市民の皆様からお預かりしている税金の使い方にムダがないか」「市民のためになる提案か」という観点で徹底議論し、その結果として可決となりました。



支援者の皆様に活動報告する土肥こうすけ(6月)

私は「情熱と行動力」をモットーに、市民の皆様の声をお聴きし、市政に反映するべく活動を行なっておりますが、国政に目を向けると、先般の国会で強行採決された共謀罪や森友・加計学園問題、閣僚による失言など、現政権の私物化とも言える国政運営や驕りと感じられる出来事が相次いでおり、多くの国民の不信を招いております。

こうした実態から、あらためて、議員活動の原点は「市民との対話」そして「現地現物での実態把握」にあると思います。私が毎月開催している「地域別座談会」をはじめ、地域に根ざした活動を地道に継続することこそが、住みやすいまち・働きやすいまち草津の実現に繋がると確信しておりますので、今後とも皆様のご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ●納涼祭のご案内

ダイキン工業(株)滋賀製作所では、今年も納涼祭を開催いたします! おいしい食べ物やグッズの**出店**、**盆踊り**や**打ち上げ花火**もお楽しみ頂けます。

**日時:8月4日(金)17:20~(花火は20:40頃)**

お車でのご来場は「北門」より入門願います。開門前のご入場はご遠慮願います。

場所:草津市岡本町1000番地2  
ダイキン工業(株) 滋賀製作所



土肥こうすけへのご意見、ご質問は 土肥こうすけ後援会 まで  
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2 (ダイキン工業労働組合滋賀支部内)  
TEL:077-564-1153 FAX:077-565-9840



## ■平成29年6月定例会 議会報告

今回の議会では、一般議案や条例改正など、計18件の議案について審議いたしました。

- 一般議案** ・野村公園体育館建築他工事の契約締結など12件  
**条例案** ・草津市税条例（一部改正案） ・草津市文化振興条例（新条例） など6件

### トピックス1 野村公園体育館建設工事について

野村公園の体育館建設については、これまでの後援会ニュースでもお伝えしたように、建設資材等の高騰による工事費用の大幅見直しや、プロバスケットチームの本拠地とするべく観客席5,000人収容にするかどうかなど、予算や運用面で様々な議論がなされ、新聞に取り上げられるほどの話題となりました。

紆余曲折あった体育館建設ですが、協議会や委員会等で「市民のための体育館」ということをしっかり伝え、それが設計に反映されたことが確認されましたので、このたび工事契約の締結に至りました。

### トピックス2 意見書について

#### 「テロ等準備罪を新設することに反対する意見書」が反対多数で否決

先般、政府は委員会採決を省略し、法改定を強行採決しました。私は、このことに反対する国への意見書提出について賛成の立場から、会派を代表して議場で討論を行ないましたが「反対16・賛成7」で否決されました。

この法改定により、電波の傍受や盗撮・盗聴など、行き過ぎた捜査が我々市民の生活にも入り込む恐れがあります。安心して暮らせる環境を取り戻すべく、国会議員を通じて、引き続き、法改定の見直しを求めてまいります。

### トピックス3 一般質問について



#### 質問の狙い

昨年11月定例会で質問した「自然環境保全地区（鞭崎神社）で発生している野鳥被害」への対策として「鷹による追い払い」を提案し採用頂いたが、その効果と残課題についての対応を求める。

#### 一般質問

サギの大量発生により被害がある鞭崎神社の環境改善に向け、鷹による追い払いを実施した結果、鞭崎神社のサギは半減したが、隣町の山田正八幡宮でサギが大幅に増えている。いずれも自然環境保全地区であり、良好な環境が維持できる取り組みを始めるべきではないか。

#### 答弁

現地調査のうえ、鳥の嫌がる音を出す防鳥器の貸出や、他の対策事例の紹介など、管理者の皆様に適宜情報提供を行いながら、対策を講じさせていただきたい。

#### 土肥の今後の取り組み

担当課が現地調査を行い次第、今後の対応について協議します。また、サギとのいたちごっこにならないよう、たとえば「巣作りできないレベルまで枝打ちを行なう」「ドローンを用いた、継続的な追い払い」など、地域の方々や行政とともに抜本的な対策を講じてまいります。

## ■地域の座談会をやっています！

地域課題をお聞きし、行政サービス向上に繋げるために座談会を開催しています。あわせて、議会や私の活動を報告し、市政へのご理解を深めて頂きました。

### ●各学区での議論（抜粋）

#### 4/15（土） 笠縫団地集会所（笠縫学区）

##### Q. バス停まで遠くて不便（ご参加者）

- ・まめバスや路線バスを利用したいが、バス停に行くまでの道りが長くて疲れる。近くにバス停を増やすことはできないか。

##### A. バス停に自転車置き場を設置（土肥こうすけ）

- ・バス停を増やすことは難しいかもしれませんが、草津市としても公共交通機関の利便性を向上させ、積極的にご利用頂きたいとの思いから、バス停まで自転車でいけるよう、バス停付近に駐輪場を設置する準備をしております。免許の返納などによりマイカーを運転できなくなっても買い物や病院などに気軽に行ける環境が整備されるよう、早期の設置をはたらきかけてまいります。



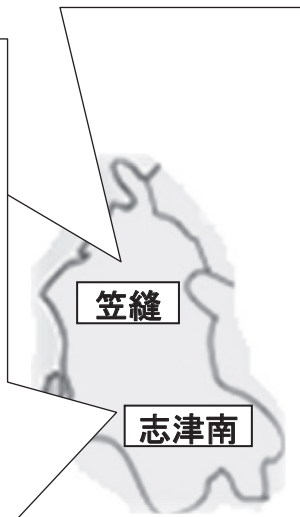
#### 5/20（土） 志津南まちづくりセンター（志津南学区）

##### Q. 若草における高齢化について（ご参加者）

- ・高齢者のみの世帯が増え、町内におけるまちづくりの担い手が不足している中、町内会とは別に「まちづくり協議会」が組織されたことで、ますます町内役員への負担が増え、疲弊している。

##### A. 効率的なまちづくり体制を（土肥こうすけ）

- ・若草に限らず、市内各地で同様のお声があがっています。高齢化が進むにつれ、ますます深刻な事態になるかと思えます。両団体の役割を整理して、地域にとって本当に必要なものと、思い切ってやめてみて様子を見るものに分けてみるべきだと考えます。



### ●過去の座談会で頂いたお声から

以前、赤ちゃんを抱いてご夫婦で参加して頂いた市民の方から「子育て支援センターぽかぽかタウン内にある『きらきらルーム』に敷かれている井草マットが汚れていて不衛生。」というお声をいただきました。



ぽかぽかタウンの様子

さっそく担当課に伝え、新しいマットに交換してもらいましたが、声上がるまで不衛生な状態が続いていることに大きな課題を感じました。

市民が満足し、安心できる行政サービスを提供していくためにも、こうした受身の体質を変えていけるよう、市職員と協議を行ないながら、行政のあるべき姿を追求してまいります。